

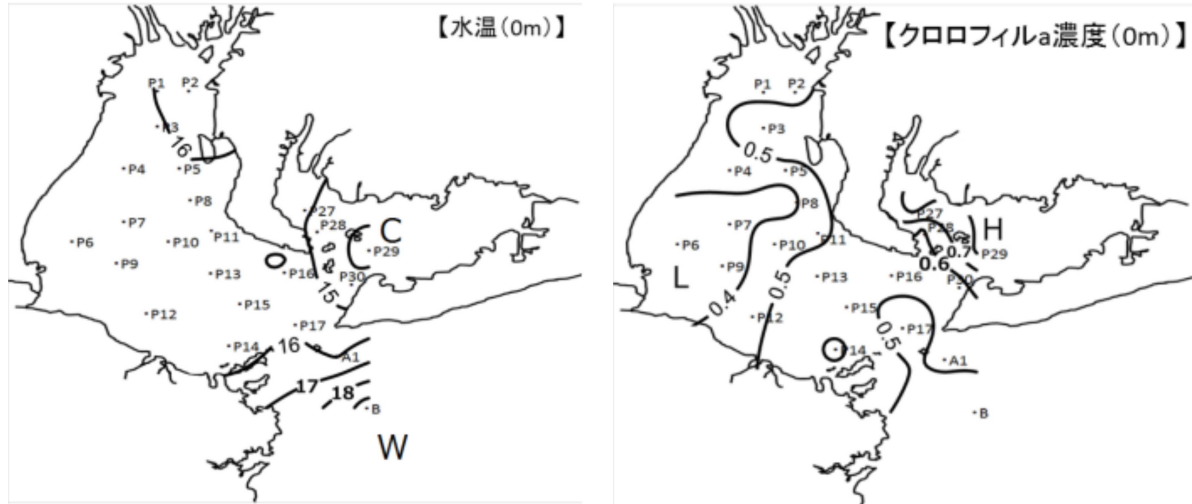
# 海況情報

愛知県水産試験場漁業生産研究所

平成 27 年 12 月 28 日

【内湾観測結果（調査日：12月7～8日（伊勢湾、湾口部）、15日（三河湾）】

表層水温は、伊勢湾で 15～16℃、三河湾で 14～15℃で、平年よりも約 2.5℃高めでした（全調査地点の過去 5 年平均との比較による）。



【鉛直分布（調査日：12月7～8日及び12月21、24日 調査点：P1～A10）】

7～8日の調査結果によると、湾奥表層には、低温・低塩分水があり、外海には高温・高塩分水があつて、湾口部は水温、塩分の差が大きくなっており、熱塩フロントが形成されていました。また、湾奥部から湾央部にかけて、弱く密度成層していることから、表層沖向き、底層奥向きのエスチャリー循環があると推測されます。

21、24日の調査結果でも、湾口部で水温、塩分の差が大きく、熱塩フロントが形成されていました。また、7～8日に湾奥部～湾央部の中層～底層で見られた 17℃以上の水塊は解消され、湾口部以北は 14℃～16℃まで降温していました。

(左図：12月7～8日、右図：12月21, 24日)

